

事業名		成人式					事業コード	1215002	計画コード	10-1-1	
款	10	教育費		項	04	社会教育費		目	01	社会教育総務費	
所属名(部局・課)		教育委員会			生涯学習課				担当名	生涯学習担当	
施策		10-1	生涯学習の振興								

1. 事業の概要

事業の対象	新成人(20歳)となる市民
意図・目的	成人としての自覚を醸成する。
活動概要	成人式実行委員会が準備から式典までの企画・運営を行う。また、式典を通して、新成人を祝福する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	式典出席率(市内対象者)	%	47.3	62.8	60.6	60.0	60.0	60.0		
	②										
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	436	431	452		413	不用額	
		決算額		千円	320	341	340			112	
		財源内訳	一般財源		千円	320	341		340		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		75.2%
成果の説明	新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、令和4年度は前年度の2部制から1部制に戻した。 新成人で構成される実行委員会において、例年式典後に行っていたアトラクションの中止や、成人全員に配付するプログラムをカラーにするなど変更した。 また、令和4年4月の民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられたが、18歳は対象者の多くが受験や就職に向けた準備の時期であることから、本人・家族への負担を考慮し、引継ぎ20歳を対象に開催することとした。式典名称は成人式実行委員会で検討し「成人式～二十歳を祝う会～」とし、今後も同名称で開催する。										
	令和4年11月1日現在の案内通知対象者		863名								
	令和5年1月8日(日)式典出席の新成人数		523名(市内465名、市外58名)								

3. 事業の課題

課題	近年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため式典を簡略化して実施していたが、社会情勢の変化により各種制限が撤廃され以前のような式典が開催可能となるが、ただ以前の形式に戻すのではなく、新成人が魅力的に感じる式典になるよう検討する必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	新成人で組織する実行委員会において企画・運営を行っているため、参加者が楽しめる企画になっている。引き続き、実行委員会形式として、新成人が自らつくる成人式とするとともに、新成人としての自覚を促す内容となるよう支援する。

事業名		社会教育団体活動支援					事業コード	1215004	計画コード	10-1-2			
款	10	教育費			項	04	社会教育費			目	01	社会教育総務費	
所属名(部局・課)		教育委員会				生涯学習課				担当名	生涯学習担当		
施策		10-1	生涯学習の振興										

1. 事業の概要

事業の対象	和光市PTA・保護者会連合会、ボーイスカウト和光団、和光市人権教育推進協議会、白子囃子保存会、ささら獅子舞保存会
意図・目的	各種団体が育成されるようにし、また各種団体活動を盛んにする。
活動概要	補助金を交付することで、各種の団体活動が充実するよう会員の増加、活動内容の充実を図る。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	補助金交付団体数	団体	4	5	5	5	5	5	
	②	和光市人権教育推進協議会事業数	事業	5	7	7	8	8	8	
	③	ボーイスカウト和光団事業数	事業	60	54	59	62	60	60	
	④	PTA・保護者会連合会事業数	事業	4	3	13	19	19	19	
	⑤	白子囃子保存会事業数	事業	3	2	2	7	7	7	
	⑥	ささら獅子舞保存会事業数	事業	4	3	3	5	5	5	
費用	事業費	予算額		千円	570	570	570		570	不用額
		決算額		千円	490	491	570		0	
		財源内訳	一般財源		千円	490	491		570	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	100.0%
成果の説明	活動の中から学習者が指導者やリーダーとして成長し、新たな学習者の支援を行うという、学びの循環を生み出すことができるため、社会教育活動を行う団体を継続的に支援した。									
	また、市民の学習活動を支援していくことで、住民同士の交流の場が確保でき、地域社会の連携をより深めていくことができた。さらに、コロナ禍により活動が縮小している市指定民俗文化財の保護・継承の面から継続的に活動ができるよう支援ができた。									

3. 事業の課題

課題	社会教育関係団体や関係機関と連携し、市内での学びの循環および、文化の継承がより促進できるように今後も支援を継続する必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	今後も対象団体の自主的な活動を、人的・物的に支援し、市内の社会教育を推進していく。

事業名		生涯学習講座						事業コード		1217003		計画コード		10-1-3			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	01	社会教育総務費			
所属名(部局・課)		教育委員会				生涯学習課						担当名		生涯学習担当			
施策		10-1		生涯学習の振興													

1. 事業の概要

事業の対象	市内在住・在勤・在学者
意図・目的	市民の学習意欲を高める。
活動概要	和光市民大学講座、学校開放講座、わこう市政学習おとどけ講座など、様々な講座を実施し、社会生活の中での学習の場を提供する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	和光市民大学講座実施回数	回	3	11	12	15	15	15		
	②	和光市民大学講座参加人数(のべ)	人	60	260	271	400	400	400		
	③	学校開放講座実施回数	回	1	0	1	20	20	20		
	④	学校開放講座参加人数(のべ)	人	16	0	1,350	250	250	250		
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	234	240	242		241	不用額	
		決算額		千円	43	58	104			138	
		財源内訳	一般財源		千円	43	58			104	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0			0	43.0%
成果の説明	和光市民大学では例年、市内の関係機関から協力を得て各施設を会場として開催するが、令和4年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場を市庁舎に限定し10回の市民大学を実施した。また家庭教育支援をテーマとして特別講座を開催した。 子ども大学わこうでは、はてな学、生き方学・ふるさと学、の3つの分野について8月に実施した。 新型コロナウイルスの影響で実施できない講座もあったが、会場や参加人数の見直し、時間短縮をするなど、感染対策をしながら可能な範囲で学習しやすい環境を提供した。										
		各種講座	開催回数	参加人数(延べ)							
	1	和光市民大学	12	271							
	2	子ども大学わこう	4	78							
	3	学校開放講座	1	1,350							
	4	理化学研究所子ども科学教室	1	19							
	5	和光市政学習おとどけ講座(職員講師編)	27	425							
	6	生涯学習指導者プロデュース講座	1	7							
	7	和光市政学習おとどけ講座(市民講師編)	5	75							

3. 事業の課題

課題	講座の開催にあたっては、地域課題や市民ニーズを反映した講座の開催等、市民の学習意欲を向上させるような仕掛けが必要である。国等の各機関と連携した講座のほか、地域や社会で関心のあるテーマを講座として学ぶ機会を提供していく。また市民が学んだことや、これまでに培った知識や技術、経験を生かせる場を提供し、充実した学習環境を整えていく必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	市の特色のひとつである国の機関等と連携した講座等、地域資源を活用した講座を開催するとともに、地域や社会で関心のあるテーマや市民のニーズに対応した講座を開催する。

事業名		中央公民館管理運営						事業コード		1220001		計画コード		10-1-4			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	02	公民館費			
所属名(部局・課)		教育委員会				中央公民館				担当名		中央公民館					
施策		10-1		生涯学習の振興													

1. 事業の概要

事業の対象	公民館活動利用者
意図・目的	利用者の利便性を向上する。また、学びやすい学習環境を整える。
活動概要	地域住民等に学習機会及び場を提供する。また、施設の適切な維持管理・運営を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	公民館利用団体使用数	団体	4,058	5,567	7,160	6,500	8,500	8,500	
	②	公民館利用人数	人	39,951	55,317	75,188	120,000	120,000	120,000	
	③	利用料金	千円	1,396	1,882	2,046	2,000	2,200	2,200	
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	23,799	23,910	32,321		30,746	不用額
		決算額		千円	21,501	21,498	29,938		執行率	2,383
		財源内訳	一般財源		千円	20,105	19,616			27,892
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	1,396	1,882			2,046
成果の説明	令和4年度も新型コロナウイルス感染症による影響から利用人数の制限は継続したが、ワクチン接種やコロナに対する経験値も向上したことから前年度を上回る結果となった。									

3. 事業の課題

課題	建設から27年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。利用者の安全を確保するために、順次、施設整備を行っていく必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	保守点検を通して安心安全な施設運営を行い、利用団体や地域住民に学習機会の場を提供する。また新型コロナウイルスの分類が5類に移行されたが、引き続き手指消毒など感染対策を継続していく。

事業名		中央公民館講座開催						事業コード	1221001	計画コード	10-1-5		
款	10	教育費			項	04	社会教育費			目	02	公民館費	
所属名(部局・課)		教育委員会				中央公民館				担当名	中央公民館		
施策		10-1	生涯学習の振興										

1. 事業の概要

事業の対象	市町村その他一定区域の住民
意図・目的	①住民の教養を向上させる。②健康を増進する。③生活文化を振興する。④社会福祉を増進する。
活動概要	実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行う。少年、親子、成人、高齢者を対象としたニーズに即した多様な講座を開催する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	講座開催数(三館合同事業を含む)	回	13	44	61	80	80	80		
	②	講座参加者数(三館合同事業を含む)	人	158	417	1,504	2,000	2,000	2,000		
	③	自主サークル化した数	団体	0	0	1	5	5	5		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	761	842	843		794	不用額	
		決算額		千円	79	353	488			355	
		財源内訳	一般財源		千円	79	353			488	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0			0	57.9%
成果の説明	事業対象・事業名		回数	延べ参加人数							
	少年・親子対象事業		15	14組 169人							
	一般対象事業		29	15組 202人							
	高齢者対象事業		6	58人							
	国際理解事業		3	17人							
	公民館利用者研修会		1	25人							
	学・社・地域連携事業		1	200人							
	連携事業		2	15人							
	三館合同事業(少年・親子対象事業)		1	16組 32人							
	三館合同事業(一般対象事業)		2	45人							
	三館合同事業(公民館サークル体験フェスタ)		1	38団体 741人							
	合計		61	1,504人							
	令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響から予定していた講座や回数を開催することができなかった。新型コロナウイルスの区分は5類に移行されたが、今後の感染状況を注視しながら開催に向け準備を進めていく。										

3. 事業の課題

課題	参加者の年齢層が全体的に高齢者が多く、地域の方々に公民館事業を多く知ってもらえるように幅広い年代の方が参加しやすい講座を展開する必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	あらゆる年代を対象とした趣味や教養、地域課題等の市民ニーズに対応した講座を開設する。

事業名		中央公民館文化祭						事業コード		1221002		計画コード		10-1-6			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	02	公民館費			
所属名(部局・課)		教育委員会				中央公民館				担当名		中央公民館					
施策		10-1		生涯学習の振興													

1. 事業の概要

事業の対象	公民館利用者及び地域住民
意図・目的	社会教育施設の新規利用者の拡大を図りつつ、公民館利用団体間のコミュニケーションを深め、相互間交流の場とする。
活動概要	利用団体の日ごろの活動の成果発表の場として文化祭を開催し、地域住民との交流を図る。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	文化祭の来場者数	人	0	0	1,500	2,700	2,700	2,700		
	②	文化祭の参加団体数	団体	0	0	47	65	65	65		
	③										
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	0	0	317		426	不用額	
		決算額		千円	0	0	102			215	
		財源内訳	一般財源		千円	0	0		102		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		32.2%
成果の説明	令和4年度の文化祭については、第7波による感染者数が減少したことやワクチン接種や利用者のコロナに対する経験値も向上したことから10月21日から23日までの3日間、感染対策を講じたうえで3年ぶりに開催した。文化祭では利用団体47団体から参加があったが、来場者数はコロナ禍の影響もあり、令和元年度(2,700人)を下回る結果となった。										
	文化祭は各団体の活動成果を地域住民に発表すると同時に多世代交流、地域交流の場として重要なイベントであるため、令和5年度も10月の開催に向け、文化祭実行委員会と協議中である。										

3. 事業の課題

課題	文化祭は公民館を知ってもらうための大きな役割を担っているが、曜日や部門によっては、来場者数にばらつきがある。また参加利用団体の高齢化が進み、若い世代の参加が望まれている。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	文化祭は、各団体の活動成果を地域住民に発表すると同時に、多世代交流・地域交流の場として重要なイベントである。引き続き文化祭実行委員会と連携し、地域の学校や団体との交流を通して、公民館活動の認知度を向上させる。

事業名		坂下公民館管理運営						事業コード		1226001		計画コード		10-1-7			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	02	公民館費			
所属名(部局・課)		教育委員会				坂下公民館				担当名		坂下公民館					
施策		10-1		生涯学習の振興													

1. 事業の概要

事業の対象	市民及び在勤在住者
意図・目的	利用者が学習や活動しやすい環境を整える。
活動概要	地域住民の生涯学習活動を支援していくため、適切な施設の維持管理・運営を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	公民館利用団体利用数(延べ)	件	1,642	2,267	2,578	2,300	2,300	2,800	
	②	公民館利用人数(延べ人数)	人	17,865	22,289	24,261	35,000	35,000	36,000	
	③	公民館使用料	千円	250	345	381	400	400	480	
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	11,873	11,481	12,221		12,518	不用額
		決算額		千円	11,490	10,758	11,578		執行率	634
		財源内訳	一般財源		千円	11,240	10,413			11,206
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	250	345			381
成果の説明	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用制限は続いたが、利用者のワクチン接種の普及や対策を講じた利用により実績は前年と比較し上回る結果となった。									

3. 事業の課題

課題	本館、別館ともに築20年以上が経過し、緊急に修繕が必要な個所が多くなっている。利用者が安心して生涯学習活動ができるよう、公民館の適切な維持管理運営を行っていく。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	保守点検等を通し、計画的な施設運営を行い、感染対策を引き続き徹底し、安心安全学習機会の場を提供する。

事業名		坂下公民館講座開催						事業コード	1227001	計画コード	10-1-8				
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	02	公民館費	
所属名(部局・課)		教育委員会					坂下公民館					担当名	坂下公民館		
施策		10-1	生涯学習の振興												

1. 事業の概要

事業の対象	市民及び在勤在学者
意図・目的	地域課題の解決に取り組む。市民の学習意欲を高める。公民館について幅広い年齢層に関心を持ってもらう。
活動概要	公民館主催講座を通じて地域住民・団体間の連携を図り、自主的に地域課題の解決に取り組む姿勢を醸成する。 幅広い年齢層の市民の学習ニーズに対応した、学びがいのある講座や教室を開催することで、生活の向上及び市民主体の地域づくりに寄与する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度																																																	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値																																																	
活動実績	①	講座開催数	回	31	51	52	75	75	75																																																	
	②	講座延べ参加者数(延べ人数)	人	422	545	601	1,500	1,500	1,500																																																	
	③	自主的な活動(クラブ)化した団体数	団体	0	0	1	2	2	2																																																	
	④																																																									
	⑤																																																									
費用	事業費	予算額		千円	357	729	729		729	不用額																																																
		決算額		千円	286	483	470		執行率	259																																																
		財源内訳	一般財源		千円	286	483			470																																																
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0			0	64.5%																																															
成果の説明	<table><tr><td colspan="3">事業対象・事業名</td><td>回 数</td><td colspan="2">延べ参加人数</td></tr><tr><td colspan="3">少年・親子対象事業</td><td>17</td><td colspan="2">210</td></tr><tr><td colspan="3">一般対象事業</td><td>22</td><td colspan="2">175</td></tr><tr><td colspan="3">高齢者対象事業</td><td>8</td><td colspan="2">159</td></tr><tr><td colspan="3">国際理解事業</td><td>2</td><td colspan="2">14</td></tr><tr><td colspan="3">教育と福祉の連携事業</td><td>3</td><td colspan="2">43</td></tr><tr><td colspan="3">公民館利用者研修会</td><td>-</td><td colspan="2">-</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>52</td><td colspan="2">601</td></tr></table>										事業対象・事業名			回 数	延べ参加人数		少年・親子対象事業			17	210		一般対象事業			22	175		高齢者対象事業			8	159		国際理解事業			2	14		教育と福祉の連携事業			3	43		公民館利用者研修会			-	-		合 計			52	601	
	事業対象・事業名			回 数	延べ参加人数																																																					
	少年・親子対象事業			17	210																																																					
	一般対象事業			22	175																																																					
	高齢者対象事業			8	159																																																					
	国際理解事業			2	14																																																					
	教育と福祉の連携事業			3	43																																																					
	公民館利用者研修会			-	-																																																					
	合 計			52	601																																																					
	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、感染リスクの高い講座については中止、感染リスクの低いと思われる講座については実施したが感染状況によりやむなく途中から中止とした講座もあった。しかしながら定員を当初の計画より少なくし、広い部屋へ変更するなど三密にならない方法で実施した結果、大きな参加者の減少にはならなかった。																																																									

3. 事業の課題

課題	・広報やチラシ等の紙ベースの周知だけではなく、和光市TwitterやLINEなどで対象者に合わせた情報提供や周知活動を行っていく。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	バランスとれた全年齢層個々の講座の充実を図っていく。

事業名		坂下公民館まつり						事業コード	1227002	計画コード	10-1-9		
款	10	教育費			項	04	社会教育費			目	02	公民館費	
所属名(部局・課)		教育委員会				坂下公民館				担当名	坂下公民館		
施策		10-1	生涯学習の振興										

1. 事業の概要

事業の対象	公民館利用者及び周辺地域住民
意図・目的	社会教育施設の利用を拡大し、公民館利用者及び地域住民の交流を深める。
活動概要	公民館を利用する団体が日頃の学習成果を発表し、地域に根ざした身近な生涯学習の場で地域住民のつながりを深める。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	参加団体数	団体	0	0	7	55	55	55	
	②	来場者数	人	0	0	209	3,500	3,500	3,500	
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	6	0	48		1,116	不用額
		決算額		千円	6	0	47		1	
		財源内訳	一般財源		千円	6	0		47	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	97.9%
成果の説明	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から2年続けて中止となった坂下公民館まつりを時期を秋に変更し、縮小して実施した。実施内容については、主に作品展示等を中心に行った。									

3. 事業の課題

課題	縮小を含め3年間、盛大な公民館まつりが実施できなかった環境について、実施時期を含め以前のような活気に満ちた公民館まつりを復活させることが課題である。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	地域の交流や日頃の活動成果の発表の場として、公民館まつりの開催は必要である。

事業名		南公民館管理運営						事業コード	1223001	計画コード	10-1-10		
款	10	教育費			項	04	社会教育費			目	02	公民館費	
所属名(部局・課)		教育委員会				南公民館				担当名	南公民館		
施策		10-1	生涯学習の振興										

1. 事業の概要

事業の対象	和光市公民館設置及び管理条例施行規則に定められている対象区域を主とする市民
意図・目的	市民の満足度を向上させる。また、公民館の経営を健全に行う。
活動概要	地域住民等に学習機会の提供と適切な管理・運営がなされている学習場所の提供を行う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	公民館利用団体使用数(件数)	件	2,051	2,370	2,936	3,800	3,900	3,900		
	②	公民館利用人数(延べ人数)	人	25,729	28,013	38,753	50,000	52,000	52,000		
	③	公民館使用料	千円	675	779	843	910	910	910		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	12,136	11,801	16,489		16,039	不用額	
		決算額		千円	11,300	11,520	15,313			1,176	
		財源内訳	一般財源		千円	10,472	10,652		14,445		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	828	868		868		92.9%
成果の説明	令和4年度も新型コロナウイルス感染症による影響から利用人数の制限は継続したが、公民館まつりの開催や地域学校協働本部活動の一環として、小学生の公民館利用等、新たな試みにより利用者数が増加した。										

3. 事業の課題

課題	建設から40年が経過し、施設の老朽化が顕著となっている。利用者の安全・安心を確保するために、順次、施設整備を行っていく必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	保守点検等を通し、安心・安全な施設運営を行い、利用団体や地域住民に学習機会の場を提供する。また新型コロナウイルスの分類が5類に移行されたが、引き続き手指消毒など感染対策を徹底していくとともに、地域と学校のつなぎ役としての役割を果たしていく。

事業名		南公民館講座開催						事業コード		1224001		計画コード		10-1-11			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	02	公民館費			
所属名(部局・課)		教育委員会						南公民館						担当名		南公民館	
施策		10-1		生涯学習の振興													

1. 事業の概要

事業の対象	和光市公民館設置及び管理条例施行規則に定められている対象区域を主とする市民
意図・目的	市民の学習意欲を向上させる。
活動概要	多様化する社会に対応するよう、教養を高める学習講座の開催及び生活に必要な知識・技術の講習などを推進する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	講座開催数	回	25	37	33	80	80	80		
	②	講座参加者数(延べ人数)	人	171	332	354	1,500	1,500	1,500		
	③	自主的な活動(クラブ)化した数	団体	4	0	0	2	2	2		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	715	636	611		633	不用額	
		決算額		千円	98	229	192			419	
		財源内訳	一般財源		千円	98	229		192		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		31.4%
成果の説明	講座開催数は、内容の見直しや感染状況による中止もあり若干減少となったが、講座の参加人数は増加に転じた。また、自主的な活動(クラブ化)した団体はなかった。										
	南公民館事業(三館共催事業を除く)										
	事業対象・事業名		回数	参加延べ人数							
	少年・親子対象事業		16回	17組151人							
	一般対象事業		10回	17組131人							
	高齢者対象事業		6回	62人							
	国際理解事業		1回	10人							
	合 計		33回	34組354人							

3. 事業の課題

課題	講座の回数を増加させることが目的ではなく、地域課題解決に資する講座の開催や体験型講座等、地域住民が学びたいこと、また、公民館が学んでほしいことを講座として開催すること、併せて、公民館の周知を図る取組が必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	地域住民が気軽に足を運び、学びたくなる講座のニーズを調査研究し、幅広い年代層に利用いただける講座内容とする。

事業名		南公民館まつり						事業コード	1224002	計画コード	10-1-12	
款	10	教育費			項	04	社会教育費		目	02	公民館費	
所属名(部局・課)		教育委員会				南公民館				担当名	南公民館	
施策		10-1	生涯学習の振興									

1. 事業の概要

事業の対象	南公民館利用団体及び周辺地域住民
意図・目的	利用を拡大し、地域住民の交流を深める。
活動概要	クラブ活動の成果発表の場として、作品展示・活動実演・模擬店開催を実施し、学習機会の周知徹底を図る。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	参加団体数	団体	0	0	28	45	45	45	
	②	来場者数	人	0	0	2,500	2,500	2,800	2,800	
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	0	0	532		594	不用額
		決算額		千円	0	0	459		73	
		財源内訳	一般財源		千円	0	0		459	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	86.3%
成果の説明	令和4年10月14日から16日までの3日間、感染対策を講じたうえで3年ぶりに開催した。利用団体28団体から参加と南地域の学校(第4小、第5小、第3中)の紹介や第3中美術部の作品展示、南保育園の活動報告、保育センター紹介、クイズラリーの開催等により、来場者数は、2, 500人となった。									
	南公民館まつりは各団体の活動成果を地域住民に発表すると同時に多世代交流、地域交流の場として重要なイベントであるため、令和5年度も10月の開催に向け、南公民館まつり実行委員会、利用団体協議会、地域の学校等と協議中である。									

3. 事業の課題

課題	公民館を地域住民に知ってもらうための大きな役割を担っているが、曜日や開催内容によって、来場者数にばらつきがある。また参加利用団体の高齢化が進み、参加団体の減少が課題である。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	南公民館まつりは、各団体の活動成果を地域住民に発表すると同時に、多世代交流・地域交流の場として重要なイベントである。引き続き南公民館まつり実行委員会、利用団体協議会、地域の学校や団体との交流を通して、公民館の認知度を向上させる内容とする。

事業名		図書館管理運営						事業コード	1229001		計画コード	10-1-13			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	03	図書館費	
所属名(部局・課)		教育委員会				図書館				担当名	図書館				
施策		10-1	生涯学習の振興												

1. 事業の概要

事業の対象	図書館利用者及び公民館図書室利用者
意図・目的	①利用者が快適、便利に過ごせる環境を整える。②自主的、自発的に学習意欲が向上されるようにする。③市民同士のコミュニケーションの機会や情報収集ができる場をつくる。
活動概要	①利用者が快適に過ごせるよう施設内における清掃等を実施する(維持管理)。②利用者が便利に利用できるようシステム等の借上をする。③市民の学習意欲を向上させる講座及び事業を開催する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度			
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値			
活動実績	① 入館者数	人	143,317	176,106	181,554	177,867	183,369	185,202			
	② 講座及び事業参加者(平均)	人	21	18	17	25	25	26			
	③ 地域課題講座数	回		3	3	4	5	5			
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	86,585	89,995	94,711		95,744	不用額	
		決算額		千円	75,073	80,152	85,828			8,883	
		財源内訳	一般財源		千円	74,165	79,582			85,215	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	908	570			613	90.6%
成果の説明	・入館者数については、令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大により大幅に減少したが、令和3年度、令和4年度と続けて増加した。										
	・事業については、感染対策を行った上で地域やボランティア団体の協力で、講座や各種事業を行った。										
	・「地域課題講座」として(ブックスタート、あかちゃんタイム、回想サロン)を実施した。										
	1 登録者(令和5年3月31日現在) 市内 64,190人 市外 14,025人										
	2 資料貸出冊(点)数 349,613冊(点) (図書館338,751冊、中央公民館822冊、坂下公民館5,324冊、南公民館4,716冊)										
	3 団体貸出 250団体 39,602冊										
	4 リクエスト件数 60,278件 (図書館60,220件、中央公民館25件、坂下公民館1件、南公民館32件)										
	5 レファレンス(参考調査)件数 5,755件 (図書館5,570件、中央公民館16件、坂下公民館72件、南公民館97件)										
	6 各種指標から見た令和4年度実績(人口は令和5年4月1日現在83,599人)										
	人口一人あたりの市内個人貸出資料数 4.57冊										
人口一人あたりの資料数 2.93冊											
資料の回転率(貸出数÷蔵書数) 1.68回											
7 図書館講座行事の状況 実施講座数 22講座 延参加者数 1,723人 延開催回数 118回											
8 主な図書館講座 絵本とおはなしの会、あかちゃんと楽しむ絵本とわらべうた、子どもの科学、ぶっくわーど、市民図書館講座、音訳者養成講座、小学生風作り講座 等											

3. 事業の課題

課題	限られた予算の範囲の中で内容等の工夫をし、世代やテーマを絞った魅力的な講座を行い、利用者の新規開拓を図り入館者数及び利用者の増加に務める。また地域の課題解決につながる講座を行うなどして、地域コミュニティを支える図書館を目指す。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	第3次和光市図書館サービス計画の基本施策「和光らしさを意識した、みんなが利用しやすい、居心地の良い」図書館を掲げ、図書館が地域コミュニティを支える情報拠点を目指すことで目標の達成へとつなげていく。

事業名		図書整備						事業コード		1230001		計画コード		10-1-14			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	03	図書館費			
所属名(部局・課)		教育委員会				図書館				担当名		図書館					
施策		10-1	生涯学習の振興														

1. 事業の概要

事業の対象	図書館利用者及び公民館図書室利用者
意図・目的	情報提供拠点として、市民のニーズに応える幅広い内容の資料を整える。
活動概要	図書及び資料(CD・DVDなど)を購入し、的確に資料の提供をする。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	蔵書資料数(一般書・児童書・雑誌・郷土資料・洋書・録音図書)	点	178,069	179,935	180,374	190,000	180,874	181,374	
	②	蔵書資料数(視聴覚資料)	点	9,199	9,300	9,230	9,431	9,489	9,547	
	③	資料貸出数	点	313,149	365,439	349,614	369,093	372,783	376,510	
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	17,768	15,815	16,081		16,195	不用額
		決算額		千円	17,747	15,614	15,936		執行率	145
		財源内訳	一般財源		千円	17,747	15,079			15,936
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	535			0
成果の説明	令和4年度の蔵書資料(一般書・児童書・雑誌・郷土資料・洋書・録音図書)180,374点のうち、803冊が寄贈いただいたものである。 雑誌スポンサーによる雑誌タイトル数3誌。金額22,213円									
	・4年度以降の①蔵書資料数の目標値については4年度の実績値が目標値を下回ったため変更。(令和4年度実績入力時)									
	平成31年 3月 闘病記コーナーリニューアル									
	令和 2年 1月 科学道100冊コーナー設置									
	令和 2年 1月 新書コーナー設置									
	令和 2年 3月 下新倉分館「みんなのひとハコ図書館」事業開始									
令和 3年 3月 中央公民館図書室に寄贈本による「日本語学習コーナー」を設置										
令和 4年 9月 料理本展示コーナー設置										

3. 事業の課題

課題	限られたスペースの中で、最大限資料を収集・保管し、資料数を確保するよう努める必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	企画展示や利用者参加型企画等を積極的に行うなど、資料貸出数が増加するよう取り組む。

事業名		図書館分館管理運営						事業コード		1229002		計画コード		10-1-15			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	03	図書館費			
所属名(部局・課)		教育委員会				図書館下新倉分館						担当名		図書館分館			
施策		10-1		生涯学習の振興													

1. 事業の概要

事業の対象	図書館利用者(分館)
意図・目的	①利用者が快適、便利に過ごせる環境を整える。②自主的、自発的に学習意欲が向上されるようにする。③市民同士のコミュニケーションの機会や情報収集ができる場をつくる。
活動概要	①利用者が快適に過ごせるよう施設内における清掃を実施する(維持管理)。②利用者が便利に利用できるようシステム等の借上をする。③市民の学習意欲を向上させる講座及び事業を開催する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	入館者数	人	29,300	38,653	38,690	40,000	40,400	40,804		
	②	講座及び事業参加(平均)	人	4	5	5	8	9	9		
	③	地域課題講座数	回		3	4	4	6	6		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	32,829	33,141	34,862		35,186	不用額	
		決算額		千円	28,419	29,893	31,364			3,498	
		財源内訳	一般財源		千円	27,570	29,891			31,362	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	849	2			2	90.0%
成果の説明	令和4年度事業										
	①「絵本とおはなしの会」、②「子どもの科学」、③「ぶっくわーど」、④「夏休み宿題教室」、⑤「図書館クラブ」、⑥「クリスマス工作」、⑦「ぬいぐるみのおとまり会」、⑧「あかちゃんと楽しむ絵本とわらべうた」、⑨「ブックスタート」、⑩「ひまわりおはなし会」、⑪「市民図書館講座(大人)」、⑫「市民図書館講座(親子)」、⑬「あかちゃんタイム」、⑭「おりがみの日」、⑮「おとなの朗読会」、新規で⑯「英語のおはなし会」を合わせて16の事業を実施。また、期間イベントとして①「本の福袋」、②「図書館で見つけよう、夏休み自由研究」の2事業を行い新規利用者の開拓に努めた。										
	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「ふれあいまつり」「サマーフェスタ」の事業は実施できず中止となったが、それに代わるものとして「ペープサートとおはなし会」「図書館の紙芝居さん」の2事業を実施した。そのほか「おとなの楽しい音読教室」は、動画を作成し配信をしてコロナ対応を行った。										
	・地域課題講座としては「ブックスタート」、「あかちゃんタイム」、「音読教室」、「守ろう自分の財産を、詐欺的商法にあわないために」を、実施した。										
	・複合施設である下新倉小学校と連携し、休み時間貸出、テーマ資料(調べ学習授業用)の貸出、依頼テーマ資料の月間貸出を行った。教員向けとして、職員室への教育関連資料の貸出を行った。また、展示ケースを活用し、和光市で発掘された土器やボードゲームを展示した。										
	分館統計										
	1 資料貸出冊(点)数 63,201(点)										
	2 リクエスト件数 371件										
	3 レファレンス(参考調査)件数 2,005件										
	4 図書館講座行事の状況 実施講座数 20事業 延参加者数 606人 延開催回数 115回										
5 主な図書館講座 「ブックスタート」、「あかちゃんと楽しむ絵本とわらべうた」、「ひまわりおはなし会(小学生向け)」、「絵本とおはなしの会」、「子どもの科学」、「市民図書館講座」等、合わせて20の事業を実施。											

3. 事業の課題

課題	世代やテーマを絞った展示・講座を行ったりと工夫はしているが、これからも利用者の増加に努める必要がある。広報や周知の方法に工夫を行うとともに、地域の問題解決につながる講座を行い、地域コミュニティを支える図書館を目指す。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	第3次和光市図書館サービス計画の基本施策「和光市らしさを意識した、みんなが利用しやすい、居心地の良い図書館」を目標に掲げ、図書館が地域コミュニティを支える情報拠点となることを目指すことで目標達成へつなげていく。

事業名		図書館分館図書整備						事業コード		1231030		計画コード		10-1-16			
款	10	教育費				項	04	社会教育費				目	03	図書館費			
所属名(部局・課)		教育委員会				図書館下新倉分館						担当名		図書館分館			
施策		10-1		生涯学習の振興													

1. 事業の概要

事業の対象	図書館利用者(分館)
意図・目的	情報拠点として、市民のニーズに応える幅広い内容の資料を整える。また、分館としての特徴を持った蔵書となるよう資料を整備する。
活動概要	図書等を購入し、的確に資料の提供をする。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	蔵書資料数(一般書・児童書・雑誌・郷土資料・洋書・録音図書)	点	47,413	51,558	55,696	52,000	57,645	59,662	
	②	資料貸出数	点	52,917	61,425	63,201	62,039	63,833	64,471	
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	11,851	11,275	11,057		11,050	不用額
		決算額		千円	11,545	11,229	11,043		14	
		財源内訳	一般財源		千円	11,545	10,991		11,043	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	238		0	99.9%
成果の説明	平成28年11月に開館した分館の図書の整備を行い、予定収容冊数約4万冊を超え、今後も引き続き図書の整備を行っていく。 令和4年度の蔵書資料数(一般書・児童書・雑誌・郷土資料・洋書・録音図書)、55, 696点(内、寄贈460冊) 令和4年度雑誌スポンサーによる雑誌タイトル数6誌(1誌5月号から休刊)。金額45, 415円 令和4年度の蔵書資料数と資料貸出数の実績値が目標値を上回ったため、目標値の変更。(令和4年度実績入力時)									

3. 事業の課題

課題	蔵書資料数は年々増加しているが、今後においては収納スペースの確保が課題となる。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	地域との関わりを今後より一層強めるためにも、企画展示や利用者参加型企画を増やしていく。

事業名		市民文化活動支援					事業コード	1017601	計画コード	10-2-1		
款	02	総務費			項	01	総務管理費		目	08	企画費	
所属名(部局・課)		総務部			総務人権課				担当名	文化交流担当		
施策		10-2	創造的な文化の振興									

1. 事業の概要

事業の対象	和光市文化団体連合会、和太鼓会和光太鼓
意図・目的	市民による創造的文化活動及び団体間の交流を盛んにする。
活動概要	和光市文化団体連合会に対して補助金を交付するとともに連合会の活動を支援する。また、朝霞地区四市文化団体連絡協議会の活動に係る事務を担う。 和光市市民文化親善大使である和太鼓会和光太鼓の団体が行う活動に対し謝礼を支払う。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	朝霞地区四市文化団体連絡協議会会議の出席数	回	2	2	5	3	3	5		
	②	文化講演会開催数	回	0	0	1	1	1	1		
	③	文化講演会参加者数	人	0	0	33	50	50	50		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	300	300	300		300	不用額	
		決算額		千円	52	67	223			77	
		財源内訳	一般財源		千円	42	67			223	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	10	0			0	74.3%
成果の説明	(1) 和光市文化団体連合会に対して補助金を交付した。 【活動】 ・定期総会 日程:令和4年5月16日(月) ・朝霞地区四市文化団体連絡協議会 朝霞地区四市芸能・芸術文化祭 日程:令和4年6月5日(日) ・視察研修 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止 ・市民まつり参加(芸能・展示部門発表、コーヒーの無料提供) 日程:令和4年11月13日(日) ・文化講演会 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により延期										
	(2) 朝霞地区四市文化団体連絡協議会 ・定期総会 日程:令和4年4月26日(火) 議題:令和3年度事業報告・令和3年度決算報告・令和3年度監査報告・令和4年度事業計画(案) 令和4年度予算(案)・令和4年度役員(案) ・役員会 第1回役員会 日程:令和4年4月26日(火) 議題:令和4年度定期総会の開催について、令和4年度芸能・芸術文化祭について										
【続きあり】											

3. 事業の課題

課題	今後も和光市文化団体連合会の活動を支援し事業を継続することが必要である。同連合会の活動がより広く展開するためには、加盟者の増加を図る必要がある。 また、新型コロナウイルスの影響により、活動や事業の中止が続いているので、状況を見ながら開催形式等の工夫等支援を行って行く必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	市民文化団体が結集した文化団体連合会や海外公演も定期的に行う和光太鼓への支援は、本市の芸術文化振興を図る上で根幹をなす部分である。これからも、両団体と連携して更なる文化振興に向けた活動を図っていきたい。 また、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、活動や講演会の仕方や支援について検討していきたい。

第2回役員会
日程: 令和4年5月11日(水)
議題: 第38回朝霞地区四市芸能・芸術文化祭について

第3回役員会
日程: 令和4年5月25日(水)
議題: 第38回朝霞地区四市芸能・芸術文化祭について

第4回役員会
日程: 令和4年11月21日(月)
議題: 第38回朝霞地区四市芸能・芸術文化祭事業報告・決算報告、文化講演会について

第5回役員会
日程: 令和5年3月28日(火)
議題: 令和5年度定期総会について、第39回芸能・芸術文化祭について

・第38回朝霞地区四市芸能・芸術文化祭
日程: 令和4年6月5日(日)
場所: 朝霞市コミュニティセンター

・文化講演会
日程: 令和5年1月31日(火)
内容: 志木市役所・旧村山快哉堂・志木の田子山富士塚を見学
講演会「富士山信仰と四市の富士塚」

- (3) 和光市市民文化親善大使である和太鼓会和光太鼓が行う活動に対して謝礼を支払っている。
同団体は市が主催する事業のほか文化交流や活動を通じて、市の紹介、広報、宣伝を行った。
和太鼓会 和光太鼓 令和4年度活動12件

事業名		文化振興					事業コード		1017701		計画コード		10-2-2		
款	02	総務費			項	01	総務管理費			目	08	企画費			
所属名(部局・課)		総務部				総務人権課					担当名		文化交流担当		
施策		10-2		創造的な文化の振興											

1. 事業の概要

事業の対象	市民、地域の文化団体、NPO法人、公益財団法人和光市文化振興公社、学校等
意図・目的	和光市の地域文化資源を広く浸透し、市民が郷土に愛着を持てるようにする。また、地域を活性化し、特有の文化を創造する。
活動概要	文化団体との協働による白子コミュニティセンター展示室の充実と白子地域に関する顕彰・発信事業を実施する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	白子地域の文化顕彰・発信事業実施数	回	0	0	3	2	2	2	
	②	白子地域の文化顕彰講演会参加者数	人	0	0	0	60	60	60	
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	55	55	55		55	不用額
		決算額		千円	46	45	48		執行率	7
		財源内訳	一般財源		千円	46	45			48
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0			0
成果の説明	和光白子文化の会との協働事業として、例年白子地域の文化顕彰講演会を実施していたが、令和2、3年度同様に新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、中止となった。 また、和光市ゆかりの文化人「清水かつら」「大石真」について問合せがあった際には、白子コミュニティセンターで展示物の説明を行う他、市のイベントへの参加・交流を行い普及・発信等を行った。 1. 講演会 新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止。 2. 協力・交流(普及・啓発) (1)特定非営利活動法人オペラ彩主催「日本の歌で結ぶ「和」のコンサート」における協力事業として、清水かつらゆかりの関連資料の展示 日時: 令和4年7月31日(日) (2)埼玉県郷土分科会「第715回の例会」展示と資料等説明(会長のみ) 日時: 令和4年11月20日(日) (3)公益財団法人和光市文化振興公社主催「清水かつら記念童謡フェスティバル みんなの童謡コンサート」における協力事業として、郷土ゆかりの童謡詩人「清水かつら」、児童文学者「大石真」関連資料の展示 日時: 令和4年11月23日(水)									

3. 事業の課題

課題	和光市ゆかりの文化人や白子地域の顕彰など、今後も和光市独自の文化を振興し続け、市民団体と連携していきたい。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	今後も引き続き白子地域の顕彰などに関して、市民団体とともに活動を進めていきたい。

事業名		市民文化センター管理運営					事業コード	1026001	計画コード	10-2-3		
款	02	総務費			項	01	総務管理費		目	14	市民文化センター費	
所属名(部局・課)		総務部				総務人権課				担当名	文化交流担当	
施策		10-2	創造的な文化の振興									

1. 事業の概要

事業の対象	市民文化センター利用者・来場者 来場が難しい市民 指定管理者
意図・目的	市民が文化に親しめるようにする。また、市民、企業、行政の協働による事業で地域が活性化し、和光市特有の文化を創造する。
活動概要	指定管理者制度により、自主文化事業、貸館事業、友の会事業などの市民文化センターの管理運営を行う。また、市民文化センターで優れた舞台芸術を鑑賞でき、市民が文化に触れる機会を提供する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	自主文化事業・共催事業数	本	31	39	45	39	42	45	
	②	市民文化センター来場者数	人	6,114	18,684	16,888	20,000	22,000	22,000	
	③	市民文化センター稼働率	%	37.5	56.6	65.9	58.0	60.0	62.0	
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	221,067	215,413	223,780		232,274	不用額
		決算額		千円	221,063	215,366	223,778		2	
		財源内訳	一般財源	千円	212,237	212,866	223,778		執行率	
			特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	8,826	2,500	0		100.0%	
成果の説明	(1) 指定管理者に指定管理料を支払い、自主文化事業、貸館事業、友の会事業など和光市民文化センターの管理運営を行った。 自主文化事業では、地域貢献型事業として「大ホールでピアノを弾いてみよう」等、普及啓発型事業として「第19回清水かつら記念日本歌曲歌唱コンクール」等、鑑賞型事業として「宝塚歌劇団星組公演」等、ほか42事業を実施した。 貸館事業では、前年度に比べて9.3ポイント増の65.9%となっており、全ての施設で稼働率は上がっている。									
	(2) 令和4年度和光市民文化センター指定管理者事業評価委員会会議を2回開催し、評価報告及び指定管理者の改善策の講評を行った。 令和4年8月10日(水) 事業評価委員会第1回会議 議題:事業評価委員会会議日程及び会議内容について、事業評価表、質問書について 令和4年10月19日(水) 事業評価委員会第2回会議 議題:ヒアリング、評価、講評									

3. 事業の課題

課題	市民全体、市内の事業者等と連携した取り組みを実施し、文化芸術を幅広く市民に提供する場を設ける。 公共ホールとしての役割を勘案して、一層適切な管理運営を務めていく必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	誰もが等しく文化芸術を鑑賞・参加できる機会を提供していくことが公立文化施設の使命であることから、指定管理者との連携により一層良質なホールの運営を行いながら、市民の期待に沿った事業を展開していきたい。

事業名		スポーツ振興業務					事業コード	1234001	計画コード	10-3-1			
款	10	教育費			項	05	保健体育費			目	01	保健体育総務費	
所属名(部局・課)		教育委員会				スポーツ青少年課				担当名	スポーツ振興担当		
施策		10-3	スポーツ・レクリエーション活動の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	市民(多世代)・スポーツ関係団体
意図・目的	スポーツを通じて市民の健康づくりを促進する。また、災害応援協定を締結している3市と友好を深め、スポーツの振興と青少年の健全な育成を行う。
活動概要	①スポーツ推進委員が主体となり、スポーツ教室や市民ハイキング等、多世代に向けたスポーツ・レクリエーション事業を行う。 ②災害応援協定を締結している佐久市、十日町市及び那須烏山市と、市内のスポーツ少年団等と連携し、スポーツ交流会を実施する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	生涯スポーツ事業参加人数	人	112	99	730	6,500	5,600	6,000	
	②	交流事業参加人数	人	0	0	161	1,100	620	620	
	③	生涯スポーツ事業数	数	5	4	10	15	9	9	
	④	交流事業数	数	0	0	2	5	5	5	
	⑤	人件費以外予算を伴わない取組事業数	回	4	4	5	8	5	5	
費用	事業費	予算額		千円	2,145	2,489	9,026		4,860	不用額
		決算額		千円	1,307	1,529	5,723		執行率	3,303
		財源内訳	一般財源		千円	1,307	1,529			5,697
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0			26
成果の説明	事業名		実施日		参加者数					
	和光市・佐久市スポーツ交流会		6月4日(土)		0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)					
	佐久市とのスポーツ交流会(マレットゴルフ)		6月18日(土)		18人					
	十日町市・和光市スポーツ交流会		7月23日(土)・7月24日(日)		0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)					
	市民体育祭		10月10日(月)		0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)					
	秋の市民ハイキング		10月16日(日)		6人					
	那須烏山市・和光市スポーツ交流会		11月3日(木・祝)		0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)					
	市民まつり(新体力測定等)		11月13日(日)		135人					
	パズロック教室		11月27日(日)		18人					
	和光市・十日町市スポーツ交流会		2月25日(土)・2月26日(日)		143人					
	和光市民ロードレースフェスティバル		3月12日(日)		451人					
	ウォーキング教室		3月19日(日)		17人					
	ノルディックウォーク講習会		2月11日(土)		20人					
	冬のレクリエーション教室		1月8日(日)		23人					
スポーツ推進委員周知活動		5月22日(日)・9月11日(日)		60人						

3. 事業の課題

課題	事業の中には、参加者が少ない事業がある。
----	----------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	参加しやすく魅力的な事業となるよう既存事業の改善、新規事業の実施を検討する。 より一層の事業の周知を行い、参加者の増加に努める。

事業名		体育団体活動支援					事業コード	1234002	計画コード	10-3-2			
款	10	教育費			項	05	保健体育費			目	01	保健体育総務費	
所属名(部局・課)		教育委員会				スポーツ青少年課				担当名	スポーツ振興担当		
施策		10-3	スポーツ・レクリエーション活動の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	体育団体、市民
意図・目的	体育団体が実施するスポーツ事業を支援する。また、体育団体が自主的に活動できるよう支援する。
活動概要	①スポーツの振興を図るため体育団体が主催するロードレースやスポーツ体験フェスタなどの事業を支援する。 ②体育団体の事務運営を支援する。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	①	ロードレースフェスティバル参加者数	人	0	0	451	1,600	1,200	1,600		
	②	スポーツ体験フェスタ参加者数	人	0	0	672	1,200	1,000	1,200		
	③	小学生水泳教室参加者数	人	0	0	0	－	60	60		
	④										
	⑤										
費用	事業費	予算額		千円	3,363	4,083	4,505		5,437	不用額	
		決算額		千円	1,668	2,371	4,124			381	
		財源内訳	一般財源		千円	1,668	2,371		4,124		執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		91.5%
成果の説明	令和4年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業の実施が出来なかったが、スポーツ体験フェスタや規模を縮小し和光市民ロードレースフェスティバルを実施した。 スポーツ協会各加盟団体の大会・教室等の実施と、スポーツ体験フェスタ、和光市民ロードレース等の事業を通じ、多くの市民に対し、スポーツをする機会を提供した。										
	事業	スポーツ体験フェスタ			和光市民ロードレースフェスティバル						
	参加人数	672人			451人						
	実施期日	11月6日(日)			3月12日(日)						
	会場	総合体育館及び運動場			樹林公園及び周辺道路						

3. 事業の課題

課題	組織のあり方についての検討が必要。
----	-------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	体育団体が自立し、自主的に活動ができるよう、引き続き支援、指導を行う。

事業名		市民体育祭					事業コード	1234003	計画コード	10-3-3			
款	10	教育費			項	05	保健体育費			目	01	保健体育総務費	
所属名(部局・課)		教育委員会				スポーツ青少年課				担当名	スポーツ振興担当		
施策		10-3	スポーツ・レクリエーション活動の推進										

1. 事業の概要

事業の対象	市民
意図・目的	スポーツに対する意欲及び健康の意識の向上を図る。また、参加者同士の交流を深める。
活動概要	スポーツの振興、地域コミュニティを図る場として、市内の市民団体に運営委員会を組織し、体育の日に市民体育祭を開催する。

2. 事業の実績

活動実績		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
	①	市民体育祭参加者数	世帯	0	0	0	5,000	－	－		
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	費用	事業費	予算額		千円	0	0	0		0	不用額
			決算額		千円	0	0	0			0
			財源内訳	一般財源		千円	0	0		0	
特定財源(国県補助、利用者負担等)				千円	0	0	0			0.0%	
成果の説明	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。										
	事業		市民体育祭								
	参加人数		0人								
	実施期日		10月10日(月)								
	会場		和光市運動場								

3. 事業の課題

課題	参加者に偏りがみられる。
----	--------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☒ 終了(廃止・休止)
	市民体育祭については、参加者に偏りがみられていたため、事業を廃止し、気軽に参加でき、だれもが楽しめるスポーツの日の事業(各種スポーツ教室、体験イベント)を実施することを令和4年度に決定した。

事業名		体育施設管理運営					事業コード	1235001	計画コード	10-3-4		
款	10	教育費			項	05	保健体育費		目	02	体育施設費	
所属名(部局・課)		教育委員会				スポーツ青少年課				担当名	スポーツ振興担当	
施策		10-3	スポーツ・レクリエーション活動の推進									

1. 事業の概要

事業の対象	市民
意図・目的	市民が体育施設を安全、快適に利用できるようにする。
活動概要	運動場・花の木ゲートボール場・レクリエーション広場の管理運営事務及び荒川河川敷運動公園・学校体育施設の貸出業務を行う。 また、司法研修所・税務大学校・裁判所職員総合研修所の体育施設(庭球場・グラウンド)の市民開放に関する事務を行う。

2. 事業の実績

活動実績		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
	①	学校開放利用人数		人	93,206	130,765	152,827	130,000	140000	140,000	
	②	体育施設利用人数		人	67,890	52,854	55,800	100,000	80000	80,000	
	③	学校開放施設数		件	12	12	12	12	12	12	
	④										
	⑤										
	費用	事業費	予算額		千円	26,134	26,361	25,686		29,074	不用額
			決算額		千円	23,946	25,217	25,065		執行率	621
			財源内訳	一般財源		千円	17,060	17,943			16,846
特定財源(国県補助、利用者負担等)				千円	6,886	7,274	8,219	97.6%			
成果の説明	登録団体数 2,197 登録人数 21,405 (うちテニス 1,567 9,685)										
	施設名		回数	利用人数	施設名		回数	利用人数			
	運動場野球場		164	9,178	広沢小学校校庭夜間開放		159	4,100			
	運動場庭球場		4,385	23,958	小学校体育館開放(平日夜間)		1,469	31,228			
	運動場会議室		131	1,992	小学校体育館開放(土日祝)		1,385	31,632			
	司法研修所庭球場		93	420	小学校校庭開放(土日祝)		1,447	63,047			
	司法研修所グラウンド		0	0	下新倉小学校プール		0	0			
	税務大学校庭球場		172	819	中学校体育館開放		821	7,853			
	税務大学校グラウンド		31	808	中学校体育館卓球場		162	3,280			
	裁判所職員総合研修所庭球場		210	1,057	中学校体育館格技場		161	4,736			
	裁判所職員総合研修所グラウンド		0	0	花の木ゲートボール場		72	442			
	荒川河川敷野球場		691	17,568	レクリエーション広場		272	6,509			
					合計		11,825	208,627			

3. 事業の課題

課題	和光市運動場については老朽化が進んでおり、利用者から改修の要望が多い。
----	-------------------------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☐ このまま継続 ☒ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	利用者の安全を第一に考えた維持管理に加え、利用者要望のニーズに応じた維持管理を実施する。

事業名		体育施設整備						事業コード		1235005		計画コード		10-3-5			
款	10	教育費				項	05	保健体育費				目	02	体育施設費			
所属名(部局・課)		教育委員会				スポーツ青少年課						担当名		スポーツ振興担当			
施策		10-3		スポーツ・レクリエーション活動の推進													

1. 事業の概要

事業の対象	市民
意図・目的	市民が体育施設を安全、快適に利用できるようにする。
活動概要	体育施設の安全、快適な利用のため、整備を行う。

2. 事業の実績

活動実績		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
	①	体育施設整備件数		件		2	2	－	2	2	
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	費用	事業費	予算額		千円		1,074	1,189		1,524	不用額
			決算額		千円		1,073	1,186			3
			財源内訳	一般財源		千円		1,073		1,186	
特定財源(国県補助、利用者負担等)				千円		0	0			99.7%	
成果の説明	運動場について、安全、快適に利用できるよう下記の整備を行った。										
	受変電設備更新工事		1件								
	運動場管理棟2階空調設備更新工事		1件								

3. 事業の課題

課題	和光市運動場については老朽化が進んでいるため、安全及び基準に沿った改修が必要。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	利用者の安全を第一に考えた維持管理に加え、基準に沿った改修を行う。

事業名		総合体育館管理運営					事業コード	1235100	計画コード	10-3-6		
款	10	教育費			項	05	保健体育費		目	02	体育施設費	
所属名(部局・課)		教育委員会				スポーツ青少年課				担当名	スポーツ振興担当	
施策		10-3	スポーツ・レクリエーション活動の推進									

1. 事業の概要

事業の対象	市民
意図・目的	健康の保持増進のため、市民が自主的にスポーツに取り組んでいるようにする。
活動概要	指定管理者により総合体育館の管理運営を行い、各種事業を通じスポーツの振興を図る。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	開館日数	日	276	312	347	347	348	347	
	②	利用人数	人	90,367	134,292	161,495	235,000	200,000	235,000	
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円	95,580	88,141	109,793		86,124	不用額
		決算額		千円	92,274	88,051	106,898		執行率	
		財源内訳	一般財源		千円	77,058	78,119			98,799
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	15,216	9,932			8,099
成果の説明	登録団体数 963 登録人数 17,388									

3. 事業の課題

課題	利用者数について、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復の兆しは見えているが、利用者数が従前に至っていない。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	利用者数増加のため、市民のニーズにあった事業の実施と稼働率向上のための周知等を行う。

事業名		アーバンアクア公園(スポーツ施設)管理運営						事業コード	1235200	計画コード	10-3-7				
款	10	教育費				項	05	保健体育費				目	02	体育施設費	
所属名(部局・課)		教育委員会				スポーツ青少年課						担当名	スポーツ振興担当		
施策		10-3	スポーツ・レクリエーション活動の推進												

1. 事業の概要

事業の対象	市民
意図・目的	健康の保持増進のため、市民が自主的にスポーツに取り組んでいるようにする。
活動概要	指定管理者によりアーバンアクア公園の管理運営を行い、各種事業を通じスポーツの振興を図る。

2. 事業の実績

		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	①	開園日数	日		213	335	335	336	335	
	②	利用人数	人		46,843	59,289	80,000	70,000	80,000	
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費	予算額		千円		33,211	30,104		30,419	不用額
		決算額		千円		32,031	30,103		1	
		財源内訳	一般財源		千円		27,019		30,103	執行率
			特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円		5,012		0	100.0%
成果の説明	施設名		利用者数(人)							
	野球場		6,135							
	庭球場		8,812							
	人工芝サッカー場		23,314							
	クレーサッカー場		11,039							
	会議室		293							
	フットサル場		3,449							
	ソフトボール場		5,318							
	自主事業		929							
	総利用者数		59,289							

3. 事業の課題

課題	平日の利用者が少ない。
----	-------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	利用者増加のため、指定管理者による自主事業の展開及び施設の周知を行う。

事業名		市民プール管理運営						事業コード	1235300	計画コード	10-3-8				
款	10	教育費				項	05	保健体育費				目	02	体育施設費	
所属名(部局・課)		教育委員会				スポーツ青少年課						担当名	スポーツ振興担当		
施策		10-3	スポーツ・レクリエーション活動の推進												

1. 事業の概要

事業の対象	市民
意図・目的	健康の保持増進のため、市民が自主的にスポーツに取り組んでいるようにする。
活動概要	指定管理者により和光市民プールの管理運営を行い、各種事業を通じスポーツ振興を図る。

2. 事業の実績

活動実績		指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度																																				
				実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値																																				
	①	開館日	日		93	328	329	329	329																																				
	②	利用人数	人		12,711	70,772	36,000	75,000	80,000																																				
	③																																												
	④																																												
	⑤																																												
	費用	事業費	予算額		千円		11,713	61,395		58,651	不用額																																		
			決算額		千円		11,713	61,272			123																																		
			財源内訳	一般財源		千円		11,713		58,650		執行率																																	
特定財源(国県補助、利用者負担等)				千円		0	2,622			99.8%																																			
成果の説明	<table><tr><td colspan="2">施設名</td><td colspan="7">利用者数(人)</td></tr><tr><td colspan="2">一般利用</td><td colspan="7">34,425</td></tr><tr><td colspan="2">自主事業</td><td colspan="7">36,347</td></tr><tr><td colspan="2">総利用者数</td><td colspan="7">70,772</td></tr></table>									施設名		利用者数(人)							一般利用		34,425							自主事業		36,347							総利用者数		70,772						
	施設名		利用者数(人)																																										
	一般利用		34,425																																										
	自主事業		36,347																																										
	総利用者数		70,772																																										

3. 事業の課題

課題	平日の一般利用者数が少ない。
----	----------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 終了(廃止・休止)
	引き続き、市民等のニーズに応えられるよう指定管理者と調整を図る。 平日の一般利用者数増加のための周知を行う。